

<このリーフレットは検診結果が届くまで保管しましょう>

乳・子宮頸がん検診を受ける方へ

乳がん・子宮頸がんは若い年代から発症するがんです

乳がんは女性に一番多いがんで40～50歳台をピークに発症や死亡が増加しています。子宮頸がんはHPVウイルス感染が関与し(主な感染経路:性交渉)、近年39歳以下で発症や死亡が増えています。子宮頸がん検診では、がんになる前の“前がん病変”や“ごく初期”で発見することができます。この段階であれば「円錐切除」という狭い範囲の手術ですむため、妊娠や出産が可能です。

令和4年度	がん確定者／精密検査受診者	精密検査未受診者
乳がん検診	33人／213人	15人
子宮頸がん検診	2人／71人	5人

乳・子宮頸がんの精密検査受診者のうち、**12.3%**の方ががんの診断を受けています。令和4年度は**20人**の方が精密検査未受診でした。

精密検査は必ず受診しましょう

大切な命を守るために、2年に1度定期的に検診を受診し、【要精検】と判定された場合は必ず精密検査を受けてください。また、【要精検】とならなくても気になる症状がある場合は医療機関で相談してください。

※精密検査の結果は、福島市と検診を受けた医療機関に報告されます。

継続して検診を受けましょう

検診ですべてのがんが発見できるわけではありません。がんは発生してから一定の大きさになるまでは発見できず、検診では見つけにくいがんもあります。

また、がんでなくても【要精検】と判定されたり、見つかったがんが放置してもただちに死に至らなくても治療を受けなければならない場合もあります。しかし、検診はこれらの低い確率で起こるデメリットよりも、検診を受けることで死亡率が下がるメリットが大きいため、必ず定期的に受診をしましょう。

※検診結果(精密検査を含む)は精度向上およびがん研究等に限り利用させていただいております。

乳房を意識する生活習慣

ブレスト・アウェアネス



ブレスト・アウェアネスとは、乳房を意識する生活習慣のことです。日頃から自分の乳房を意識し、その状態を知っておくことが大切です。

ブレスト・アウェアネスの4つのポイント

- ◆ 自分の乳房の状態を知る
- ◆ 変化に気が付いたら、すぐ医師に相談する
- ◆ 乳房の変化に気をつける
- ◆ 40歳になったら、2年に1回乳がん検診を受ける

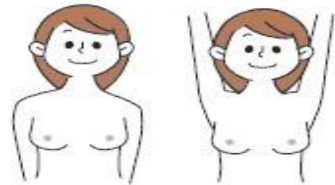
セルフチェックのポイント

① 見てチェックする

～鏡の前で変化がないかチェックする～

Check

- ・両腕の力をぬき自然に下げた状態で確認
- ・両腕を肩まで上げた状態で確認



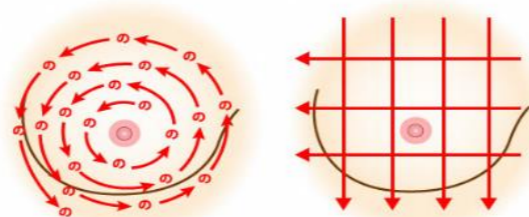
- 乳房の皮膚に赤み・むくみ・ひきつれ・へこみはないか
- 乳房の形に左右差はないか
- 乳頭のへこみ(陥没)、分泌物はないか
- 乳輪にただれはないか

② 触ってチェックする

Check

- ・3～4本の指をそろえて触る
- ・指のお腹で触る
- ・ゆっくりとまんべんなく触る
- ・立った姿勢と横になった姿勢で行う
- ・チェックする範囲は
乳房全体:鎖骨から乳房の下まで
リンパ節:わきの下、鎖骨の上、左右の胸の間

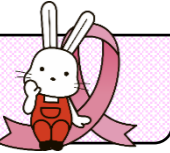
- 乳頭をつまんで茶褐色の血液が混じった分泌物が出ないか
- しこりや違和感はないか



渦巻き式

平行線式

乳がん検診



気になる症状がある場合

乳房のしこり、皮膚のひきつれ、乳頭から血性の液が出る、乳頭の湿疹やただれなど気になる症状がある場合は、次の検診を待たず、すぐに外科・乳腺外科を受診してください。
また、現在医療機関を受診し経過観察中の方、乳がん既往のある方は市民検診ではなく、引き続き主治医の指示を受けてください。

マンモグラフィ

小さいしこりや石灰化を見つけることができます。乳房を片方ずつプラスチックの板ではさんで X 線で撮影します。乳房が圧迫されるため痛みを感じることもあります。圧迫時間は数十秒ほどです。また放射線被ばくによる健康被害はほとんどありません。

精密検査 (保険診療となります)

複数実施し判定します。

マンモグラフィ追加撮影 小さなしこりを確認します。

超音波検査 しこりの中の構造が分かります。

細胞診、組織診

疑わしい部位に針を刺して細胞や組織を採取し悪性かどうか診断します。

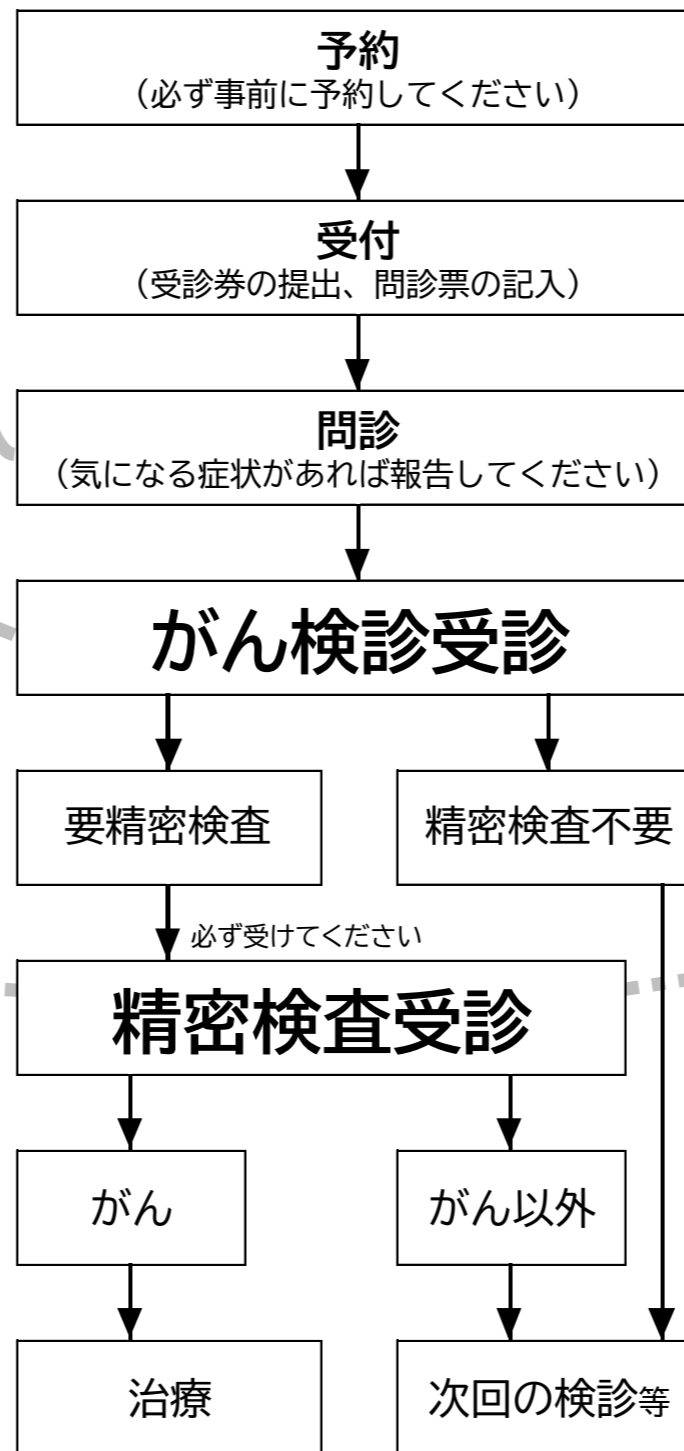
視触診 しこりを確認します。

乳管造影・乳管内視鏡検査 乳管内の様子を調べます。

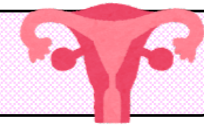
精密検査のできる医療機関

医療機関名	電話番号	乳	子宮頸
アートクリニック産婦人科	523-1132		○
いちかわクリニック	554-0303		○
大川レディースクリニック	545-8883		○
大原総合病院	526-0300	○	○
君島乳腺クリニック	528-8511	○	
済生会福島総合病院	544-5171	○	○
てらだクリニック	559-3101		○
新妻産婦人科	533-1103		○
西口クリニック婦人科	525-6388		○

検診の流れ



子宮頸がん検診



気になる症状がある場合

月経(生理)以外に出血がある、閉経したのに出血がある、月経が不規則など、不正出血が疑われる症状や気になる症状がある場合は、次の検診を待たずすぐに婦人科を受診してください。
また、現在、婦人科を受診し経過観察中の方は、市民検診ではなく引き続き受診中の主治医の指示を受けてください。

内診

子宮の形、大きさ、位置、動き、圧痛の有無などを確認します。

子宮頸部の細胞診

子宮頸部(子宮の入り口)を、先にブラシのついた専用の器具で擦って細胞を取り、がん細胞など異常な細胞がないかを顕微鏡で調べます。
*月経(生理)中は避けて検査を受けてください。

精密検査 (保険診療となります)

コルポスコープ検査

細胞診で異常が発見されたら、コルポスコープ(腔拡大鏡)を使って子宮頸部を詳しく見ます。異常な部位が見つければ、組織を一部採取して悪性かどうかを診断します。

HPV検査

子宮頸がんを引き起こす HPV ウイルスの有無を調べる検査で、コルポスコープ検査が必要かどうかを判断することもあります。

女性検診は、早期発見のために 2 年に 1 度定期的に検診を受けることが大切です。
がんの中には急速に進行するがんもあります。しこり、痛み、不快感など気になる症状がある場合には、次の検診を待たずに医療機関を受診しましょう。



医療機関名	電話番号	乳	子宮頸
福島県保健衛生協会 総合健診センター	546-3533	○	○
福島西部病院	533-2121	○	○
福島赤十字病院	534-6101	○	
福島第一病院	557-5111	○	
本田クリニック産科婦人科	545-3500		○
明治病院	521-0805		○
やざわみほこレディースクリニック	573-5881		○
わたり病院	521-2056		○
福島県立医科大学附属病院	※検診医療機関からの予約が必要		